

- 【日 時】 令和6年2月9日（金）10時30分～12時30分
- 【会 場】 さいたま市立七里小学校 南校舎2階 研修室
- 【委 員】 猪原 諭（会長） 七里小学校PTA会長
平田 昭臣（副会長） 七里小学校PTA顧問
吉田 正信 東門前第一自治会長 七里地区自治会連合会長
鶴谷 千法 青少年育成七里地区会長
大塚 章二 七里地区自治会連合副会長
丸山 深雪 交通安全保護者の会会長
松澤 和洋 見沼区子ども会事務局
伊藤 司 七里地区民生委員・児童委員
船木 まさこ 交通指導員 七里小学校元PTA会長
和田 恵美 七里小学校PTA副会長
山川 一美 七里小学校おやじの会会長（欠席）
横山 彰一 七里小学校おやじの会前会長（欠席）
佐々木 崇 青少年育成会東宮下支部長
保坂 泰司 校長
永井 利昭 学校地域連携コーディネーター

<議 事>

1 開会行事

(1) 校長あいさつ

- ・校内事情の伝達として、学級閉鎖の対応、教職員の体調管理の呼び掛けを行っている。非常に時に備えて教職員の体制を整えつつ学校経営・運営に当たっているところである。
- ・本日も忌憚のないご意見を。会の後に、地域の方々を招いた学校給食を行う。

2 学校運営の進捗状況

(1) 学校の日々の様子（説明者：校長 保坂泰司）

① 学校生活と学校行事

② 地域行事

- ・①②ともに、パワーポイントを活用して説明。

(2) さいたま市学習状況調査結果

（説明者：学校課題研究主任 有賀茉綾）

- ・3・4学年は国語・算数、5・6学年は国語・社会・算数・理科を実施。
- ・算数。計算問題として、「整数一小数」が出題された。位をそろえて計算する技能が試された。
- ・筆算をさせるのが目的なのか。（船木委員）
→筆算のやり方も含め、数の概念もあわせて指導するところ。答えを出すまでの筆算の手



- 順を教えつつ、見直しをもって解かせるように繰り返し指導している。見直し時にも、ある程度の答えの大きさの見直しをもって行わせる。(学校課題研究主任)
- ・基礎学習の定着は、繰り返し繰り返し行う。ねばり強く教えていくのが大切。(鶴谷委員)
 - ・話していると主語がなくなっていく。普段から、感覚も大切にしながらも、正確に言葉の感覚を磨いていく必要がある。「主語がないよ」という家庭の会話が出る環境がさらに基礎学力の定着につながる。(鶴谷委員)
 - 修飾語を入れて文章を長くしていき、発展的に捉えていく。また、「が」以外に「は」「も」も主語であることを抑えていく。(校長)
 - ・日本語も主語を大切にさせていきたい。(鶴谷委員)

(3) 保健 (説明者：養護教諭 久我千秋)

- ・学校保健委員会「親子クッキング」等の説明。
- ・給食の量の調整について。残させないのがねらいなのか。
- まずは自分の食べきれぬ量を知る。しかしながら、好き嫌いなく食べさせるのも大切。(養護教諭)
- ひと口は食べよう。個に合わせて対応している。「レディースデー」の設定等楽しい中でたくさん食べられる雰囲気を作るのも担任の仕事である。(校長)
- 今後も旬のものを取り入れていく。給食のメニューを通して季節を感じられるよう配慮しながら給食運営にあたっている。(養護教諭)

(4) 生活のきまり (説明者：生徒指導主任 落合和磨)

- ・今の児童の実態に即しているルールなのか、を常に意識してきまりを設定している。

(5) 生徒指導上の取組 (いじめ対策委員会) (説明者：生徒指導主任 落合和磨)

- ・いじめ認知件数は年間で9件。現在見守りを含め4件。
- ・定期的に行っているアンケートからの報告や日々の児童からの相談により対応に入る。
- ・いじめに関する保護者アンケートも今年度より実施している。
- ・やくそくごとが多くはないか？(船木委員)
- 今後も代表委員とも話して進めていく。(生徒指導主任)
- ・不登校特集を取り上げていた番組を観た。全国で数十万人いる不登校。七小ではどの程度の人数か、また、SSWの活用具合はどうか。(大塚委員)
- 全国の基準である年間30日以上長期欠席児童は5・6名程度。まずは担任との信頼関係を軸とする。必要に応じて外部職員や外部機関との連携を図っていく。(校長)
- ・校長をはじめとした教員の登校の働き掛けが長期欠席児童のよい刺激になっている。
- ときにケース会議の開催というように教員の協力体制を確立している。100人の長欠児童がいたら100通りの働き掛けの方法がある。教職員には、とにかく「子どもをよく見る」を大切にさせる。担任がまずはやるべきことを徹底してやる。その後、民生委員や児童委員にもつなげていけるとよい。(校長)
- ・いじめは、やはり5・6年で増えてきている傾向があるのではないか。(船木委員)
- 発達段階にあわせていじめに対する指導を共通理解・共通行動をもとに、担任をはじめ組織として複数の目で行う。(校長)

3 学校評価

(1) 学校アンケート（説明者：校長 保坂泰司）

- ・主に「2」「5」「8」「15」についての説明。

(2) 自己評価システムシート

- ・教職員の年齢層はどういう状態なのか。（船木）

→若手が多い。若手のよさを生かして学校運営に携われるよう、中堅教職員やベテラン教職員との関わり合いの中で互いに切磋琢磨できる職場環境を整えていく必要がある。若手に率先して仕事を任せ、それ以外の教職員がバックアップする環境も必要。（校長）

※シートについては、別途文書でご意見をいただくこととした。

4 令和6年度学校経営方針

- ・パワーポイントを活用して説明。

※令和6年度学校経営方針について、出席者全員の仮承認を受けた。

5 連絡

- ・金管バンド「ありがとうコンサート」開催案内 ・アンケート調査依頼 ・会食の説明
- ・大谷グローブの紹介

6 その他

- ・毎月の学校だよりの発行のタイミングについて。
- ・熟議のテーマ「笑顔で強くたくましい子」については来年度も継続する。地域行事を大切にし、子どもの参加率を上げるとともに教職員も積極的に参加する。（校長）
- ・熟議のテーマについて、PTA 役員会にて話題にした。次に続くテーマとして、「思いやりのある子」「やり遂げる子」も目指したい。（猪原会長）
- ・あいさつはできてきていると感じる。（猪原会長）
- ・来年度の地域に関わる行事の予定確認。

① 見沼区避難所運営訓練。6/22（土）午後1時。児童の参加を増やしたい。七里中学生は炊飯係等としてほぼ関わる予定。体育館は終日使用予定。

② 自治会連合会総会。4/13（土）。資料は32部必要。学校の紹介をしたり、学校への協力依頼をしたりする機会がある。

7 閉会

